

令和 **6** 年度

小学校用教科書

# 内容解説資料

編集の趣意と特色

文部科学省検定済教科書 小学校社会科用  
17教出 社会 307



# 小学 社会 ③



教育出版

# 小学社会

# 監修者のことば

こばやし ひろ み  
小林宏己

早稲田大学・総合科学学術院教授

社会科は「人々が幸せに生きる持続可能な社会」の創り手として子どもが学び育つことを願う教科です。その学びには、子ども一人一人が「何が問題なのか」自分ごととして考え、「どうな



ることがよいか」と実現に向けた目標を設定し、「どうすることがよいか」見通しをもって必要な情報を収集し活用しながら、対話を通じて自他の考えを深め合い、よりよい社会の変化に向けて意見を表明することが望まれます。本書には、本気になって学ぶ子どもの思考過程が大切に扱われるよう、随所に最適な創意工夫が施されています。近い将来の社会創造に責任をもって取り組む際に欠かせないエージェンシーの育成にも十分対応した編集内容になっています。

おお いし まなぶ  
大石 学

東京学芸大学名誉教授

今日、日本と世界は、急速なグローバル化のもと、環境、エネルギー、平和、人権、格差など諸課題が深刻化しています。この状況は、地球規模・人類規模の危機の高まりを意味します。児童たちは、自らが生きる未来に向けて、主体的に問題をとらえ、解決のために種々の資料を用い、お互いに意見を



を交わしながら思考する態度と能力を育成することが求められています。本書は、児童たちの発達段階に応じた具体的な問題、資料、データ、解説などを意識して編集しました。この特徴を十分に活かし、身のまわりの問題を、時間的・空間的、社会的にとらえるリテラシーを身につけ、高めていただければ幸いです。

## 令和6（2024）年度版『小学社会』編集の趣意と特色

## もくじ

編集の基本方針と三つの特色	2
特色1 「調べたり考えたりする力」が身に付く教科書	3
特色2 「主体的に楽しく学べる」教科書	5
特色3 「社会とつながる」子どもを育てる教科書	9
今日的な課題への取り組み	11
すべての児童の学びを支える配慮	13
各学年の特色 3年・4年	15
5年	19
6年	23
主体的な学習に活かせる「まなびリンク」	27
デジタル教科書・デジタル教材のご紹介	28
教科書を活用した指導を支える「教師用指導書」	29

## 編集の基本方針

教科書を通して、「自ら問い、考え続け、行動し、社会を創っていく」。そんな子どもたちの成長に、いつも寄り添う教科書を目ざしました。

この教科書は、人々が幸せに生きていくためには「どうなることがよいか」と子どもが粘り強く調べ、考え、意見を表明していくことができる過程を大切にしています。

多様な人々と対話を重ね、理解を深め合いながら、考えることをあきらめない子どもが育つよう願って編集しました。その特色は以下のとおりです。



### 特色

①

「調べたり  
考えたりする力」が  
身に付く教科書



- ・「問題解決的な学習」の進め方が身に付きます。
- ・「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。
- ・対話的な学習を促し、活発な表現活動につなげます。

### 特色

②

「主体的に楽しく  
学べる」教科書



- ・豊富な資料や二次元コード・コンテンツが関心や意欲を高めます。
- ・見通しをもち振り返りながら追究を進められるようになっています。

### 特色

③

「社会とつながる」  
子どもを育てる  
教科書



- ・社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。
- ・社会的な「選択・判断」や「構想」の場面を充実させています。

# 特色 1

## 「調べたり考えたりする力」が身に付く教科書

### ① 「問題解決的な学習」の進め方が身に付きます。

▼3年 p.144 ~ 145

#### 「問い」を中心に 学習が展開していくことを重視

単元を通して追究していく「みんなでつくった学習問題」と、その解決に向けた単位時間ごとの「この時間の問い」を例示しています。



みんなでつくった学習問題

市の様子は、どのようにかわってきたのだろう。

**つかむ** この時間の問い  
市の様子は、昔と今では、どのようにちがうのだろう。

**活動**

- 昔の市の様子について、家の人にも聞いてみよう。
- 市のうつりかわりについて、学習問題をつくろう。
- 学習問題について予想し、学習計画を立てよう。

**郷土資料館の新田さんの話**

わたしたちの市は、はじめのころ、今よりもずっと小さかったのです。その後、まわりの町や村と合わさって、今の大きさがわかりました。市が広がるにつれて、人口もふえました。田んぼや畑だった所が住宅地となり、学校などの公共施設も整えられてきたのです。

**みんなでつくった学習問題**  
市の様子は、どのようにかわってきたのだろう。

**つかむ** この時間の問い  
市の様子は、昔と今では、どのようにちがうのだろう。

**調べること**

- 交通のうつりかわり
- 土地の使われ方のうつりかわり
- 人口のうつりかわり
- 公共施設のうつりかわり

**調べる**

「一学期にやった市の様子の学習をふり返って、学習の見通しを立てよう。」  
ゆうまさんは学習問題について予想して、市の交通、土地の使われ方、人口、公共施設について調べて学習計画を立てました。

**市のおうつりかわり調べる学習計画**

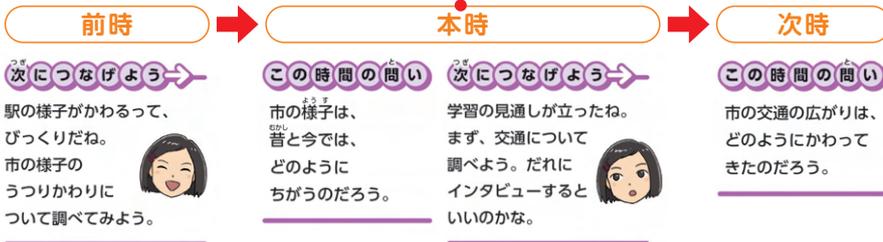
**調べる**

- 昔から住んでいる人にインタビューする。
- 写真や地図などを調べる。

**まとめ方**

- 絵カードにまとめる。
- 年表に書き足す。

「単位時間の内容を基本的に」見開き（2ページ）で構成しています。

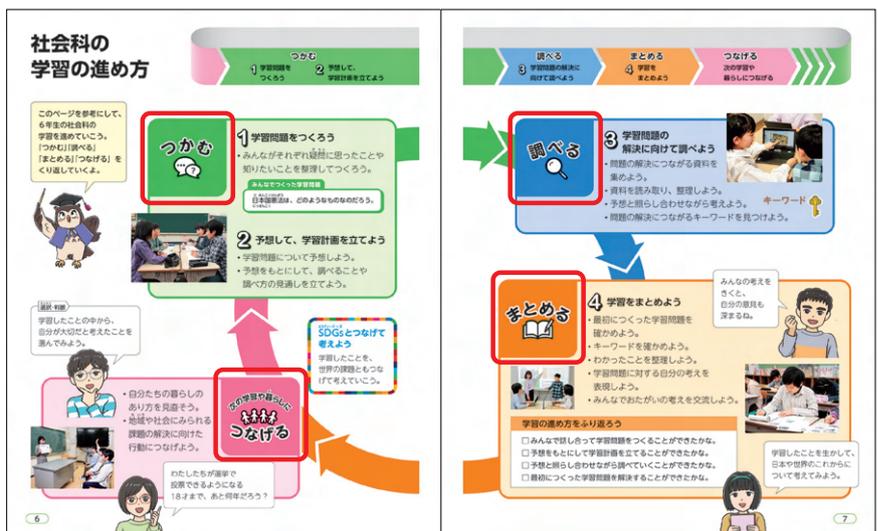


#### 問いがつながり、一貫した追究を進められる「次につなげよう」

右ページの下部に「次につなげよう」を掲載しています。各時間の「問い」がつながり、単元を通して一貫した追究ができるようにしました。

#### 問題解決的な学習の流れが、視覚的にわかる

「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の問題解決的な学習の進め方を、巻頭にモデル図で解説しました。



## 【キーワード】

問題解決的な学習 社会的な見方・考え方 対話的な学習・表現活動

# ② 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。

▼各学年 p.5

**社会科で使う見方・考え方**  
次のことに気をつけて、学習しよう。

- 時期や時間の変化**  
お祭りは、いつから行われているのだろう。
- 場所や広がり**  
県の南西側に大きな平野が広がっているよ。
- くふうやかかわり**  
昔の人は、用水路をつくるうえで、どのようなくふうをしたのかな。
- くらべる**  
市の人口の変化と、水の使用量の变化をくらべて、二つの変化の共通点を見つけよう。
- 関連づける**  
県の土地の使われ方は、地形と関係がありそうだな。
- まとめる**  
取り組みをしている人たちの思いや願いをまとめると、このように言えると思います。

「社会的な見方・考え方」の働かせ方がわかる

土地の**広がり**や、場所による**ちが**いについて、まとめてみよう。



▲3年 p.42

不平等条約を結んでから改正されるまで、どの**くらい**の時間がかかったのだろう。



▲6年 p.186

輸出と**くら**べると輸入は遠い国からのものも多いよ。



▲5年 p.150

社会科の視点や方法を、キャラクターのふきだしで、わかりやすく例示しています。

「見方・考え方」の働かせ方のヒントを、キャラクターが語ります（太字で提示）。

# ③ 対話的な学習を促し、活発な表現活動につなげます。

対話的な学習・表現活動の多様な方法を紹介

ICTを活用した表現活動など、学習内容に応じた方法を、「まとめる」や「つなげる」ページを中心に、多様に紹介しました。対話的な学習を効果的に進めるうえで活かせます。



**まとめる**

みんなが書いたふせんを整理すると、日本の工業生産のさまざまな「強み」や「課題」が見えてきました。あおいさんたちは、これからの工業生産の発展のために、どの「強み」を大切にすべきか、考えて話し合いました。

**つなげる**

順位づけをして、それぞれの考えを説明しよう。

① 学習問題を確かめよう。  
みんなもつづいた学習問題  
日本の工業生産には、どのような特徴があるのだろう。

あおいさんたちは、以前に書いた「日本の工業生産の特徴」のふせんをさらに増やして、これからの工業生産の発展について考える手がかりにしました。

② 調べたことをふせんやカードで整理しよう。  
学習の強み  
工業の強みに注目すると、こんなふうに見えるかな。  
機械工業や金属工業、化学工業が中心  
大工業での工場でも、新しいロボットやAIを試し合っている研究開発をしていることが、日本の工業生産の特徴のひとつ。  
特色の中には、課題もなりつうなものもある。  
海外にもある生産を伸ばしている  
③ つなげて  
「これからの工業生産の発展に大切なこと」が大切だと思う。なぜなら、

みんなが書いたふせんを整理すると、日本の工業生産のさまざまな「強み」や「課題」が見えてきました。あおいさんたちは、これからの工業生産の発展のために、どの「強み」を大切にすべきか、考えて話し合いました。

順位づけをして、それぞれの考えを説明しよう。

① 学習問題を確かめよう。  
みんなもつづいた学習問題  
日本の工業生産には、どのような特徴があるのだろう。

あおいさんたちは、以前に書いた「日本の工業生産の特徴」のふせんをさらに増やして、これからの工業生産の発展について考える手がかりにしました。

② 調べたことをふせんやカードで整理しよう。  
学習の強み  
工業の強みに注目すると、こんなふうに見えるかな。  
機械工業や金属工業、化学工業が中心  
大工業での工場でも、新しいロボットやAIを試し合っている研究開発をしていることが、日本の工業生産の特徴のひとつ。  
特色の中には、課題もなりつうなものもある。  
海外にもある生産を伸ばしている  
③ つなげて  
「これからの工業生産の発展に大切なこと」が大切だと思う。なぜなら、

みんなが書いたふせんを整理すると、日本の工業生産のさまざまな「強み」や「課題」が見えてきました。あおいさんたちは、これからの工業生産の発展のために、どの「強み」を大切にすべきか、考えて話し合いました。

順位づけをして、それぞれの考えを説明しよう。

① 学習問題を確かめよう。  
みんなもつづいた学習問題  
日本の工業生産には、どのような特徴があるのだろう。

あおいさんたちは、以前に書いた「日本の工業生産の特徴」のふせんをさらに増やして、これからの工業生産の発展について考える手がかりにしました。

② 調べたことをふせんやカードで整理しよう。  
学習の強み  
工業の強みに注目すると、こんなふうに見えるかな。  
機械工業や金属工業、化学工業が中心  
大工業での工場でも、新しいロボットやAIを試し合っている研究開発をしていることが、日本の工業生産の特徴のひとつ。  
特色の中には、課題もなりつうなものもある。  
海外にもある生産を伸ばしている  
③ つなげて  
「これからの工業生産の発展に大切なこと」が大切だと思う。なぜなら、

▲5年 p.170～171

思考ツールで学習を整理する方法も多様に紹介しています（このページでは「ダイヤモンド・ランキング」を紹介）。

# 特色 2

## 「主体的に楽しく学べる」教科書

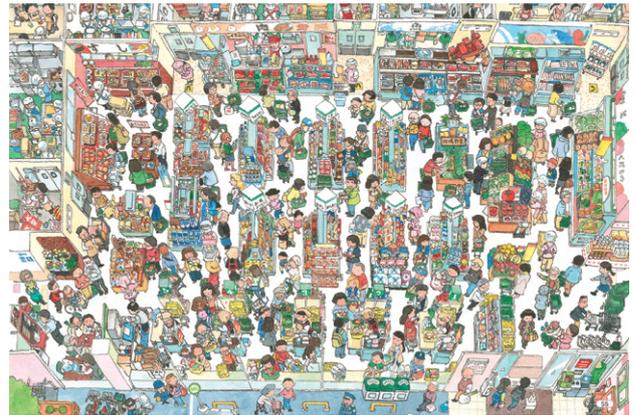
### 1 豊富な資料や二次元コード・コンテンツが 関心や意欲を高めます。

読み取らせたい要素が精緻に  
描かれたワイドで楽しい絵画資料

参照⇒本冊子p.16、p.25



スーパーマーケットの店内だけでなく、  
バック・ヤードの様子までわかる詳しいイ  
ラストだね。見学の予習に活用できるよ。



▲3年p.55



幅約60cm

うわあ、大きなイラストだ  
ね。歴史のできごとを日本  
列島の広がりの中で見るこ  
とができるよ。



◀6年p.76

地域の必要に応じて選んで  
活用できる「せんとく」のページ

学習指導要領に例示されている  
選択肢の中から選んで活用する  
ページが充実しています。

わたしたちの県では、水  
害がくり返し起きている  
から、こちらのページを  
選んで活用しよう。



地震に  
そなえる  
まちづくり

わたしたちの県では、水害がくり返し起きているから、こちらのページを選んで活用しよう。

地震にそなえるまちづくり

地震にそなえるまちづくり

地震にそなえるまちづくり

▲4年p.82「地震」

水害に  
そなえる  
まちづくり

水につかちまち

水につかちまち

水につかちまち

▲p.98「水害」



白黒写真のカラー化

6年の歴史学習のページには、AIの技術と史料などをもとにカラー化した画像を52点掲載しました。色鮮やかな画像資料が、児童の関心と学習意欲を高めます。  
参照⇒本冊子p.25



画像カラー化に関する監修  
渡邊英徳(東京大学大学院教授)

※権利者の許諾を得られた写真をカラー化しています。



▲6年p.220

戦後の「青空教室」の写真だね。子どもたちの表情が明るいよ。みんな、どんな気持ちだったのかな。



豊富な  
二次元コード・コンテンツ

紙面に印刷された二次元コードから簡単にアクセスできます。子ども自身が活用できるコンテンツを豊富に用意しました。

参照⇒本冊子p.27

▲6年p.158

都道府県の名前や位置を当てるクイズだよ。くり返し楽しみながら、覚えられるね。

WEB

みりょくがいっぱい！  
知りたいな、47都道府県

さくらさんは、地図帳を聞いて、自分たちの県の位置や、自分たちの県から見た他の都道府県の位置について話し合いました。

▲4年p.10

WEB

人形の動きがまるで生きていたみたいだ。すごいな。



# ② 見通しをもち振り返りながら 追究を進められるようにしています。

## 見通しをもって学べる「インデックス」

「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの場面を学んでいるかが、視覚的にわかります。

つかむ	この時間の問い	つかむ	この時間の問い
調べる	日本の人々は、世界でどのような役割を果たしているのだろう。	調べる	子どもたちの命や権利を守るために、どのような活動が行われているのだろう。
まとめる	<b>まとめる</b>	まとめる	<b>つなげる</b>
つなげる		つなげる	

◀4年 p.33

## 追究の見通しの立て方を丁寧に例示

みんなの疑問を一つの文に表して、クラスの学習問題をつくりました。

わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろう。

学習問題について予想したあとで、調べること調べ方をノートに書きました。

調べること	調べ方
ごみを収集する様子	→ 収集の様子を観察する。
ごみを分別したり、収集に出すとき	→ ごみの処理にかかわる仕事をしてにきまりがあったりするわけ
ごみを処理するしせつと役割と	→ ごみを処理するしせつを調べ、処理のしかたを見学する。

ひろさんとちは、最初に何を調べたらよいかについて、それぞれの考えを話し合いました。

「まず、ごみを収集する場所へ行って、どのように収集しているかを見てみようよ。」

「収集する係の人に、集めたごみをどこへ運んでいるのか、聞いてみようよ。」

「つかむ」場面では、学習計画を立てる場面を丁寧に例示して、見通しをもって主体的に学ぶ力が身に付くようにしました。

## 追究を振り返る観点を提示

学習内容だけでなく、追究の過程を振り返るページを設けて、学び方を自ら改善していこうとする主体的な態度の育成を図ります。

前の学年を振り返ろう

何を学んだかな

何ができるようになったかな

どうやって学んだかな

▲全学年 p. 4

学習の進め方をふり返ろう

- みんなで話し合って、学習問題をつくることができたかな。
- 予想をもとにして、学習計画を立てることができたかな。
- 予想とてらし合わせながら、調べることができたかな。
- はじめにつくった学習問題を、かいつくすることができたかな。

◀全学年 p. 7

4年生の学習をふり返ろう

① 順の地図を広げて

② 結城なくらとまちづくり

③ 自然災害にそなえるまちづくり

④ 地域で受けつがれてきたもの

⑤ 昔から今へと続くまちづくり

▶4年 p.212 ~ 213

# ③ 学び方を学べます。

## 学びのてびき

学び方を学ぶ「学びのてびき」のコーナーを、学習場面に応じて提示しています。

参照 ⇒ 本冊子の投げ込み資料「学びのてびき」「もっと知りたい」一覧

先生が東峰村のくわしい地図を見せてくれました。

学びのてびき

縮尺のちがう地図で調べる

①調べるはんいを決め、目的に合った縮尺を選ぶ。

②スケールをたしかめる。

③の場合、250mは、250mのきよりを、1cmで表していることを確認する。

④ 縮尺が25万分の1の東峰村の地図

⑤ 縮尺が2万5000分の1の東峰村の地図

▲4年 p.162



# 【キーワード】

多様な人たちの姿から学ぶ

選択・判断、構想

人権

主権者

伝統的な文化

## 3 人権や人権保障をめぐる課題について理解し、考えることができるようにしています。

▶5年 p.138

ユニバーサルデザインの自動車の開発

### 運転や乗りおろしやすい機能

- 車いすやベビーカーを使う人でも乗りおろしやすいように、車内やドアを広くする。
- 足にしようがいのある人でも運転できるように、手でだけ運転できる装置を取り付ける。



### キーワード

#### ●ユニバーサルデザイン

しようがいの有無、年齢や性別、言葉のちがいがわからなく、だれもが等しく使いやすいように、あらかじめ安全で便利なものをつくろうとする考え方。

#### ●リフトつきの自動車

●先住民族の人々の人権  
アイヌの人々は、日本にたくわられた土地を離れてきた。1997年、日本では、アイヌの人たちもついでに独自の文化をもち、アイヌ文化振興法が制定され、2007年、世界の国々が加盟する国際連合で、アイヌ民族を多くつづける先住民族の権利を守ることを目指す宣言が採択された。これを踏まえ、2008年、国連で「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択された。

●障害者差別解消法  
障害のある人もない人も、ともにあつまる社会をつくることを目的として、2016年に施行された法律です。この法律は、障がいのある人を差別しないよう、国や自治体、事業者がサービスを提供するときに配慮を怠らないうることを規定しています。また、障がいのある人から行動のきまげやなまめを取り除くように求められたとき、国や自治体は、きまげを取り除く必要がない範囲で対応することを定めています。

▲5年 p.138  
アイヌの人たちや在日外国人、障がいのある人などに対する差別や偏見、性別による差別も解消していかなければなりません。そのためには、国や地方の政治が努力するだけでなく、わたしたち一人一人も、憲法にかけられた理想の実現に向けて、おたがいの人権を尊重し合う社会をつくる努力をしていくことが大切です。憲法では、さまざまな権利とともに、国民が守るべき義務についても定めています。わたしたち国民が、義務を果たしていくこともまた、よりよい社会を築いていくために大切なことです。

次は、「平権法」について調べよう。

▲6年 p.21

日本国憲法が定める基本的人権と、人権保障をめぐる課題

## 4 主権者として必要な資質が養われるようにしています。

日本国憲法や我が国の政治のしくみの基本について理解し、政治への参画に向けて意識を高めることができるように編集しました。

▶6年 p.48 ~ 49

政治の学習を踏まえ、自分たちの住むまちの政治について考える「子ども議会」の活動。

わたしたちの暮らしにつながる政治について考えよう

●政治の意義を政治に生かす  
政治とは、社会をよりよくするために、国や自治体のことを決めること。グループごとにまとめた。

●政治の意義を政治に生かす  
政治とは、社会をよりよくするために、国や自治体のことを決めること。グループごとにまとめた。

●政治への参画と投票  
選挙人は、国や自治体である選挙権を行使し、選挙が政治に参画するための大切な権利です。しかし、こうした権利の行使が十分にできていない人もいます。2021（令和3）年に行われた第26回衆議院議員総選挙の投票率は、55.9%で、半数近くの人投票していないという状況があります。また、2019年に実施された参議院議員総選挙の投票率は32.2%で、半数近くの投票率を確保できていない状況です。

## 5 伝統や文化を理解し、尊重する態度を育みます。

我が国の国土や歴史について、貴重な自然や文化財から学びます。6年の歴史単元では、国宝や世界遺産などの写真にマークを付しています。

### 学びのびき 文化財に注目しながら学ぶ

歴史の学習を、さまざまな文化財にも注目しながら進めていこう。

#### ◆教科書で使われているマーク

- 国宝** 国が指定した文化財のうち、特に価値が高いものとして国宝に指定されているもの
- 重要文化財** 国が指定した文化財のうち、重要なものとして重要文化財に指定されているもの
- 世界遺産** 人類全体にとっての高い価値をもち、世界遺産条約にもとづいて登録された遺跡や景観など



●本陣家の屋敷 (山形県酒田市) 本陣家は、江戸時代に北前船の船主の一人として日本各地の品を売り買いし、富をたくわえて大さな力をもちました。

日本遺産として認められている文化財を手がかりに、身近な地域の歴史を調べる学び方もあります。

日本における世界遺産

●日本には現在27の世界遺産（文化遺産18、自然遺産9）があります。

●日本遺産とは、国が指定した文化財のうち、特に価値が高いものとして日本遺産に指定されているもの

●日本遺産として認められている文化財を手がかりに、身近な地域の歴史を調べる学び方もあります。

▲6年 p.77

▲5年 p.246 ~ 247

# 今日的な課題への取り組み

## ① SDGsへの取り組み

SDGsとつなげて考えよう

学習をSDGsの視点から振り返り、これからの地域や社会、暮らしのあり方について主体的に考えることができるようにしました。

SDGsとは、持続可能な社会を実現するために世界各国で取り組もうと考えられた目標です。2015（平成27）年、国際連合で開かれた「持続可能な開発サミット」で採択され、2030年まで目標達成に向けて各国で努力することとされています。

5年生の社会科では、日本の国土と人々の暮らしの様子、産物の様子を学習します。SDGsとつなげて学んだことをふり返ると、新たな課題や、自分たちの暮らしの中でできることを見つけられるかもしれません。

SDGsとつなげて考えよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困 2 飢餓 3 健康とウェルビーイング 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等 6 清潔な水と衛生 7 再生可能エネルギー 8 働きがい、経済成長、イノベーション 9 産業、イノベーション、インフラの持続可能な開発 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 消費の持続可能性を高めよう 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 16 平和と公正 17 パートナリシップ

▲5年p.250～251

自分たちと森林との関わりを見つめよう。ひとりで考えたことは、自分たちの暮らしと森林との関わりの中で大切だと感じたことを選ぼう。おたがいの意見を伝え合おう。

自分たちが大切だと感じた「森林のはたらき」を一つ選ぼう。選んだ理由とともに、ノートやスライドなどに書こう。これからは自分と森林との関わりについて、考えをまとまよう。

自分たちが大切だと感じた「森林の豊かさと活用」の取り組みを一つ選ぼう。選んだ理由とともに、ノートやスライドなどに書こう。これからは自分と森林との関わりについて、考えをまとまよう。

▲5年p.235

教科の学習内容との関わりを重視しています。

250～251ページを参考にしよう

日本では、輸入した木材がたくさん使っていたね。世界の森林を守るため、自分たちができることはあるかな。

## 「SDGsとつなげて考えよう」のページ

3年 p.162～163      5年 p.250～251  
4年 p.214～215      6年 p.66～67

## ② 領土の扱い

我が国の領土の範囲や、北方領土と竹島の領土問題、尖閣諸島をめぐる課題について正しく理解し、平和的な解決に向けて考えることができる資料を掲載しています。



◎外国との領土に迷いごう これらの島々は、一度も他の国の領土になったことがない、日本固有の領土です。

択捉島もふくめ、国後島・色丹島・歯舞群島の、北海道の北東に連なる島々は、北方領土とよばれる日本の領土です。しかし、1945（昭和20）年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦（今のロシア連邦）が不法に占領し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。



◎日本の領土、領海、排他的経済水域

日本固有の領土、竹島と尖閣諸島

尖閣諸島の竹島は、日本の領土でありながら、1954（昭和29）年から韓国が不法に占拠する状態が続いています。日本はこれにくり返し抗議するとともに、国際的な場で話し合いを求め、平和的に解決しようとする姿勢を堅持し、韓国に対する話のたすきかけを重ねてきています。

また、沖縄県の尖閣諸島も日本の領土であり、国としての適切な管理をこれまでに続けているにもかかわらず、中国が自国の領土であると主張しています。その領土の日本の海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行った行為を強く非難し、日本の領土に侵入して海洋資源を採取しようとする行為を強く非難し、海上保安庁の監視を厳格に行っています。また、海に侵入して海洋資源を採取しようとする行為を強く非難し、海上保安庁の監視を厳格に行っています。

▲5年p.16～18

この時代の問い

これからの社会を築いていくうえで、どのようなことが大切だろう。

◎日本と北朝鮮の代表との話し合い この会談は、2002年には、拉致された人々のうち5人が帰国し、2004年には、その家族が日本への帰国や訪韓を果たしました。

◎中国と日本 日 1972年、中国との国交が正常化し、1978年には日中平和友好条約が結ばれました。現在、中国は世界でも有数の経済発展を上げています。政治、経済、文化、スポーツなどあらゆる面で日中両国の友好関係を、アジアや世界各国から注目されています。

一方、日本と中国の間には、領土をめぐる課題があります。沖縄県の尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題はなにかの日の本立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。尖閣諸島の海では、中国の船が侵入し、日本の領土を侵犯する行為を繰り返しています。日本は、そうした行為をいかに中国に求められています。

◎日中平和友好条約の締結

◎沖縄のアメリカ軍基地 1951年に平和条約が結ばれた後も、沖縄はアメリカに占領されたままです。沖縄では、アメリカ軍の基地を広げるために土地がうばわれたり、軍用機の事故で住民が巻き込まれたりしました。祖国復帰を目的とする運動が繰り返され、1972年、沖縄は日本に復帰しました。しかし、沖縄には現在でも、島の面積の約8%をしめる広さのアメリカ軍基地が残されています。そして、軍用機の事故などで住民に不安をもたらすことも起こっており、基地の縮小や県外への移設を求める住民の運動が続いています。

◎未解決の北方領土 戦後、ソビエト連邦（ソ連）との国交は回復しましたが、北方領土の問題は解決されませんでした。日本固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、ソ連の時代から占領されたままです。1991年にソ連が解体してからは、ロシア連邦との間で返還を求める交渉が続いています。

▲6年p.230～231

# 【キーワード】

SDGs 日本領土 防災教育 ICT活用 カリキュラム・マネジメント

## 3 防災教育との関連

教科の学習内容と関わらせながら、防災について理解し、考えられる教材を各学年に設けています。

### 防災に関するページ

- 3年 p.96～111 「火事からまちを守る」
- 4年 p.80～113 「自然災害にそなえるまちづくり」
- 5年 p.210～221 「自然災害とともに生きる」
- 6年 p.50～57 「災害からわたしたちを守る政治」



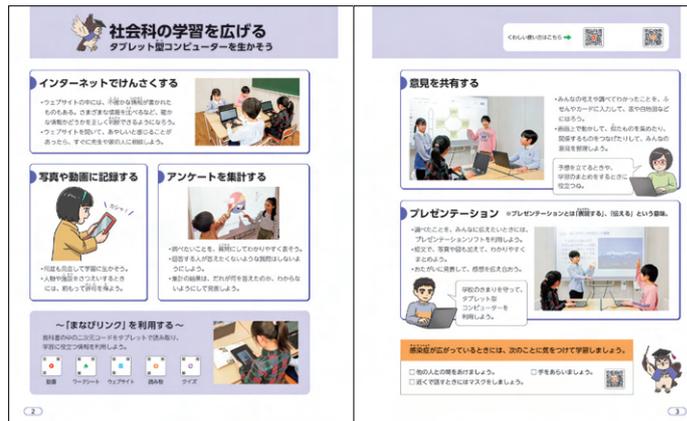
▲5年p.210

## 4 ICTを活用した学習への対応

ICT機器の多様な活用例を、学習内容に応じて写真やイラスト、さらには動画などで紹介しています。



▲6年p.267

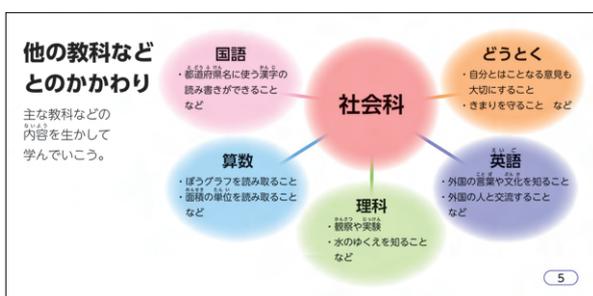


▲全学年p.2～3

タブレット型端末を教科の学習に活用する様々な方法を紹介しました。

## 5 カリキュラム・マネジメントへの配慮

他の教科等との学習連携の例を「他の教科などのかかわり」として示し、横断的な学びを意識できるようにしました。生活科からの、また、中学校への接続をスムーズに図ることをねらいとしたページも設けました。



▲全学年p.5



▲3年p.4



▲6年p.291

# すべての児童の学びを支える配慮

## ① より多くの児童に見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」を使用

本文には、ロービジョン（弱視）や、読みに困難さがある学習障がいの子どもにも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」を使用しました。また、本文以外でも、用途に応じたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

もやしたごみの灰のゆくえ ひろとさんたちは、  
 清掃工場でもやしたごみの灰や、もやさないごみが  
 運ばれるうめ立て処分場について調べました。地図  
 を見ると、処分場は、東京港の中にあります。

一画一画の書き方の方向性や画数を学習指導要領に照らし合わせながらも、太さの強弱を抑え、文字の尖った部分を避けた優しくシンプルなデザインの文字です。

電子黒板や、下からバックライトのあつたタブレット表示でもはっきりと見やすいという特色があります。

## ② 色覚の個人差に配慮したカラーユニバーサルデザインに基づく配色

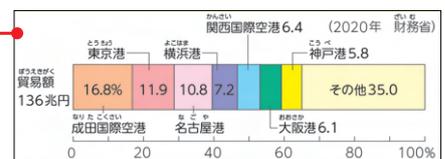


▲3年 p.28 ~ 29

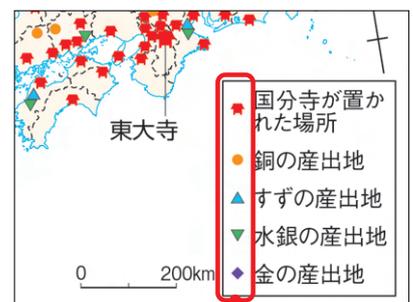
全体として色づかいを意図して抑えた落ち着いたデザインにしています。



色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色にしています。



▲5年 p.153



▲6年 p.101

色だけでなく形からも区別することができるようにしています。

この教科書は、  
 NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO)  
 による認証を取得しています。



## 【キーワード】

ユニバーサルデザインフォント カラーユニバーサルデザイン 紙面デザイン

# ③ わかりやすく活用しやすい紙面デザイン

**つかむ**

調べる

まとめる

**新企画!**

現在の学習場面を  
確かめられる「インデックス」

「つかむ」「調べる」「まとめる」などのどの場面を、今、学んでいるのかを確かめながら、見通しをもって学習に臨むことができます。

**かつどう活動**

- 地図を見て、自分たちの市の場所を調べよう。
- 知っている県内の市町村の名前と場所を、たしかめよう。
- 市の形を、かいてたしかめよう。

県や市の地図をながめて あおいさんたちは、県内の市町村の地図を見て、横浜市の場所をたしかめました。次に、知っている場所や行ったことのある場所について、方位を使って話し合いました。

「鎌倉市の海に、泳ぎに行ったことがあるよ。」  
「横浜市は、まわりの市町村とくらべて、ずいぶん広いね。」  
「地図では右の方にかかっているから、横浜市は、県内の東の方にあるということだ。」  
「市の形は、何か動物のようにも見えるね。」  
「神奈川県も、子犬みたいな形だよ。」

24

⑦ わたしたちの県の市町村

資料のネームにカタカナの記号  
注目させたい資料を簡潔に指示  
できます。

▲3年 p.24 ~ 25

# ④ 平易な文章表現、語句解説

当該学年の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には、見開きごとに「ふりがな」を付すとともに、平易な文章表現や語句解説により、読解に負担がかからないよう配慮しました。

**キーワード**

● **公共しせつ**

**解説** 学校、図書館、役所など、みんなが利用できるようにするための場所のこと。

▲3年 p.16

**キーワード**

● **ごみの分別**

**解説** ごみを種類ごとに分けて収集に出すこと。

▲4年 p.31

**キーワード**

● **ライン**

**解説** 決められた順番どおりに、人やロボットが分担して作業を行い、製品をつくり上げていく一つの流れのこと。

▲5年 p.129

**キーワード**

● **NGO(非政府組織)**

**解説** 平和や人権、環境などの問題に対して、国のちがいをこえて、協力して活動している民間の団体。

▲6年 p.273

**キーワード**

問題を解決していくうえで重要な言葉を「キーワード」として、主として側注欄に記載しています。

# 3年4年の主な特色

## 1 生活科からの接続、段階を踏んだ展開に配慮した単元構成

●3年 生活科からの接続に生かせる特設ページ  
探検や観察など、生活科の学習活動を振り返りながら、社会科への関心や期待を高めていくうえで活用できます。

▶3年 p.4

### 生活科をふり返ろう

何を学んだかな  
「社会科でも、あんなが使うしせつ、まちをたんけんするよ。」

何ができるようになったかな  
「お世話になった人に、気持ちをつたえることができ、うれしかったね。」

どうやって学んだかな  
「なんだろう」「どうしてかな。」  
「みんなで話し合っ、あだちの考えに気づくことは楽しいよ。」

「まちでは、いろいろな人と出会えたよね。」  
「まちたんけんのお地圖をつくることができました。」

▼3年 p.16-17

### 駅のマわりコースをたんけん

あおいさんたちは、駅のマわりを歩いてかんさつし、はたらいている人たちに話を聞いてみました。

「おかの上に神社があったよ。そこから、わたしたちの学校が見えたよ。」  
「ゆうびん局は、生活科のたんけんのときにも見学したよね。」  
「地区センターは、多くの人がようしていたね。赤ちゃんやお年寄りの人もいたよ。」  
「駅のマわりには、区役所や消防局などの公共施設が集まっているみたいだね。」

### 土地の高い所とひくい所コースをたんけん

ゆうまさんたちは、学校の南がわにある土地の高い所や、川のマわりなどをたんけんしました。

「近くなって、たくさんのかいだんのようにならんでいるよ。土地に、てごぼがあるんだね。」  
「「仁王さま」のいる寺は、古そうなてものだよ。いつごろから、あるのかな。」  
「「鏡見川」の方は、ひくくなっているんだ。工場やマンションなどが、ならんでいるね。」  
「広い道路が東西に通っているね。道路に、てごぼ、工場や大きなそうがあるよ。」

▼3年 p.18-19

### 寺の住職の河本さんの話

この寺は、今から500年以上も前にたてられました。急な坂の場所にあるため、仁王さまのいる門が、かいだんの上にとられていきます。

「鏡見川」の方は、ひくくなっているんだ。工場やマンションなどが、ならんでいるね。」

## ●3年 二つの小単元からなる「身近な地域と市」

「身近な地域」を2か所、調査・比較して、段階を踏んで「市」の学習へと進む展開を例示しています。配当ページ数・想定時数は、「市」に重点を置いています。

### 昔の道具とくら

昔の道具 さくらさんたちは、地いきで行われた、もちつき大会について、話し合いました。

「うすやきねを使って、おもちをついたよ。きねが重くて、大変だったな。」  
「しゅうまい工場のようなきねは使わず、人の力だけでつくったんだね。」  
「うすやきねって、古くからあるよね。昔の人は大変じゃなかったのかな。」  
「今でものこっている昔の道具が、他にもあるのかな。」

さくらさんたちは、校内の郷土資料室をたずねて、どんな昔の道具のこっているのか、調べました。

かま、こまをたく道具はね、どうやって使うのね。」  
「うす、うすはねで、こまを叩いてみるよ。」

これは「花箱」っていう道具だよ。おもちを臼にきねでこくことができるよ。」  
「昔やうのは、臼カキップヒーターを使っているよ。」

昔の道具についてきょうみをもったさくらさんたちは、もっとくわしく調べてみることにしました。

## ●3年 「昔の道具」から導入する「市の様子の移り変わり」

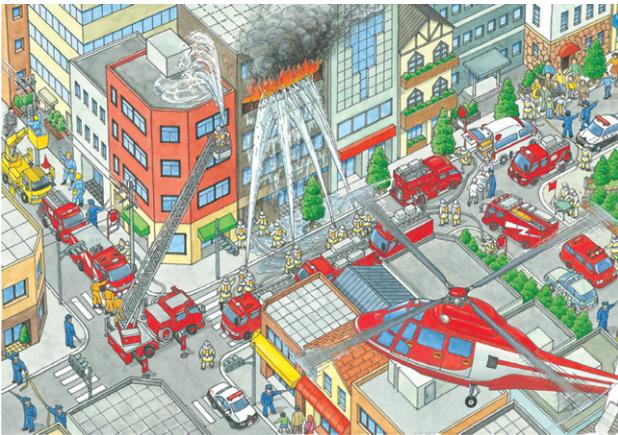
「昔の道具と暮らし」をこの学習の最初(第1小単元)に位置づけ、実際に観察できる「道具」を通して「時間の経過に伴う移り変わり」という考え方を理解します。そのうえで、交通や公共施設、土地利用や人口などの抽象度の高いことがらを扱う(第2小単元)という、段階を踏んだ展開を例示しています。

◀3年p.130～131

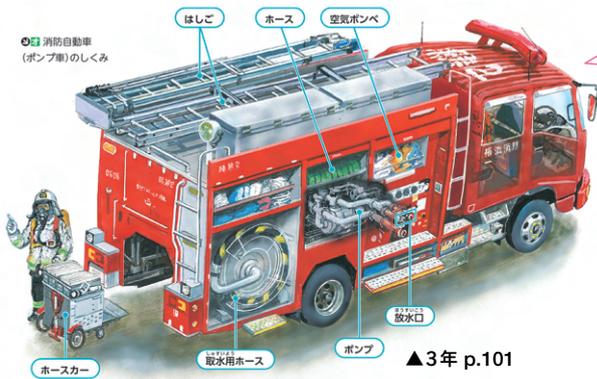
## 2 地域副読本と併用しやすい資料やページの数々

### ● 3年生にぴったりの資料や活動

「地域の安全を守る働き」では、3年生の児童の関心が高まりやすい資料を掲載するとともに、見学・調査などの活動を重視しています。



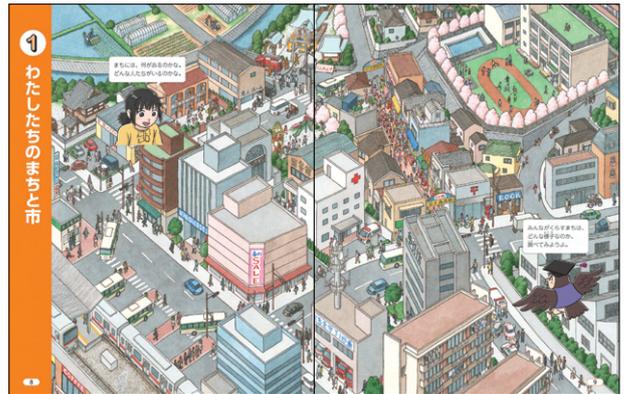
▲3年 p.94～95



▲3年 p.101

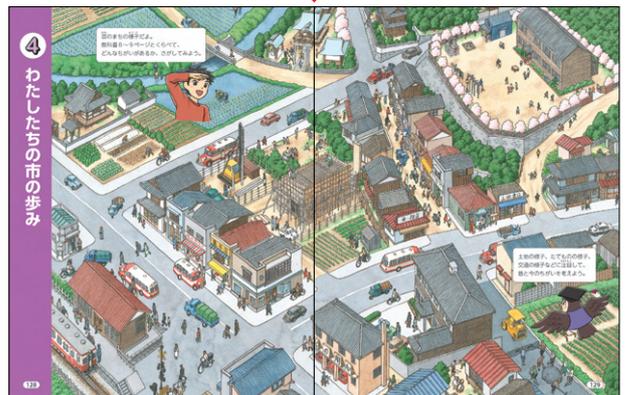
現場で好評!

● 見開きいっぱいに描かれたイラスト  
昔と今のまちの様子を細部まで比較しながら読み取ることを通して、「時間の経過に伴う移り変わり」という考え方に気づかせます。



▲3年 p. 8～9 「まちの今」

↑ ↓ 比較



▲3年 p.128～129 「まちの昔」

### ● 3年 社会科への入門、「わくわく!社会科ガイド」

地域調査、地図帳の活用、記録・表現の方法などの基本的技能を詳しく解説した特設のページです。



▲3年 p.100



▲3年 p.164～175



## 3年4年の選んで活用できるページ **せんたく**

学習指導要領に例示されている選択肢の中から選んで活用できるページが充実しています。

### 【3年】

- 身近な地域と産業 p.68～81 「工場ではたらく人と仕事」、p.82～93 「農家の仕事」

### 【4年】

- 人々の健康や生活環境を支える事業  
p.50～69 「水はどこから」、p.72～77 「くらしと電気」、p.78～79 「ガスはどこから」
- 自然災害から人々を守る活動  
p.82～97 「地震にそなえるまちづくり」、p.98～109 「水害にそなえるまちづくり」、  
p.110～111 「火山の噴火にそなえて」、p.112～113 「雪の災害にそなえて」
- 地域の発展に尽くした先人の働き  
p.130～151 「昔から今へと続くまちづくり」（用水・新田開発）、  
p.152～153 「地域に学校をひらく」（教育）、p.154～155 「地域の人々を病気から救う」（医療）、  
p.156～157 「沖縄の文化のよさを伝える」（文化）
- 県内の特色ある地域  
p.176～187 「昔のよさを未来に伝えるまちづくり」（歴史的景観）、  
p.188～197 「自然を生かしたまちづくり」（自然景観）

## 4 社会で活躍している多様な人物に取材し、臨場感豊かに紹介

実際の取材に基づいているのでリアル！

### ● 「〇〇さんの話」

実際の取材に基づいて、社会で活躍する多様な人たちを、その思いにも触れながら臨場感豊かに紹介しています。



#### 人形つかいの榎木さんの話

阿波人形浄瑠璃は、人形つかい、楽器を鳴らす三味線ひき、せりふを言う太夫が気持ち一つに行きます。地域には、住民がつくる座がいくつもあり、資料館に来たお客さんにしばいを見せ、楽しんでもらっています。わたしもそうした座の中の一人です。地域で受けつがれてきたすばらしい伝統芸能を、多くの人に見てほしいです。また、子どもたちに伝えていきたいという思いから、地域の小学校に出かけて、しばいを行っています。

▲4年 p.125



#### しゅうまい店の細木さんの話

ここで売っているしゅうまいべんとうは、近くにある工場で作っています。人がきかいを動かして、たくさんしゅうまいを自動的につくっています。きかいの中に、ざいりょうの肉や野菜などを入れると、しゅうまいができあがる様子を想像してみてください。また、わたしたちの市の人たちは昔から、そして今でも、しゅうまいをたくさん食べています。だから、市の名物とよばれているのです。

▲3年 p.69

3年は39か所、  
4年は75か所、  
掲載しています。



#### 料理店を開く梶原さんの話

わたしは、東峰村でとれた魚や野菜を使った料理店を開いています。料理は、小石原焼のお皿や茶わんにもりつけ、料理がよりおいしく見えるよう、うつわ運びにもこだわっています。お客様には、食事をしながら小石原焼のよさを楽しんでもらいたいですね。

▲4年 p.169

#### 新しいうつわづくりにはげむ小野さんの話

わたしは、小石原焼の伝統を守りながら、今の人の生活に合うような新しいうつわづくりにちようせんしています。コーヒーカップやサラダボウルの他、アクセサリーや東峰村の木村と組み合わせたコップも作りました。色や形も新しさにこだわっています。外国の人にも使ってほしいですね。

▲4年 p.167



#### 太宰府市に住む鬼木さんの話

わたしは、自分の土地がふくまれる史跡の調査に、初めは賛成しませんでした。しかし、調査で太宰府へ来た藤井さんという人に協力をたのまれ、いっしょに史跡を調べると、土の中から昔のかわらや道具が次々と出てきました。その時、この土地を開発から守ることの大切さに気づいたのです。藤井さんは、地域の史跡は、地域の人を守ることの大切さを人々に説いていました。今、わたしも、史跡や文化財の保存をとっても大切なことと考えています。

▲4年 p.181



◎太宰府の史跡の調査に取り組んだ藤井さん



#### 水道管を検査する田所さんの話

県は、古くなった水道管を取りかえたり、水道管に水もれがないかを検査したりして、みなさんが安心して飲むことができる水を送りどけるよう努めています。地域の人口がふえるとともに、水道管のきりよもびていきました。水道が引かれる前、人々は川などの水を使いましたが、十分に安全な水とはいえませんでした。今は、県内各地に水道管が引かれましたが、それらを検査したり修理したりするには費用がかかります。

▲4年 p.59

# 5年の主な特色

## 1 「高付加価値型」の事例に学び、日本の産業の未来を考える生産单元

### ● 生産单元：事例地選定の観点

安全性や品質の向上、環境負荷の軽減、福祉への貢献などを指向した「高付加価値型の生産」や「これからの成長分野の開拓」という観点から、南魚沼市(稲作)などの事例地を選んでいます。日本の産業の未来を前向きに考えていこうとする意識が涵養されるようにしています。

▼5年 p.84  
6次産業化を図る米づくり生産者の取り組み



🍷 玄米を材料に使ったベーグルパンづくり



▲5年 p.74 ICTを活用して、より高い品質を旨とする米づくり生産者の取り組み



🍷 野菜工場(千葉県) 室内で光や温度を調節して、計画的に生産します。農業を使わず、安全性も高いですが、電気代などに多くの費用がかかります。



🍷 乳牛の健康状態をアプリで管理する(岩手県) 働く人の不足をおさなうためにも、作業を自動化したり楽にしたりする技術が開発されています。

▲5年 p.116 技術の革新が食料生産に及ぼす影響

### ● 農業にたよらないくふう

雑草や害虫の発生を防ぐ農業は、使いすぎると、人の健康に悪いえいきょうをおよぼす心配があります。農業をまく回数をおさえるために、かもを水田に泳がせて、雑草や害虫を食べさせている農家もあります。



🍷 水田に放された、かもの群れ

▲5年 p.75 農業に頼らない稲作の工夫

### ● 「持続可能な発展」の視点を重視した食料生産单元

米づくりや水産業で進められている様々な取り組みを紹介しています。こうした事実を根拠にしながら、食料生産のこれからの発展を考えていくことができるようにしています。



🍷 玄米黒酢をまく 🍷 タンクに入れた玄米黒酢水でうすめた酢を水田にまきます。

▲5年 p.74 減農薬の米づくり



### 養殖業者の村川さんの話

品質にばらつきがなく、安心して食べられるぶりを育てるために、栄養バランスのととのった安全性の高いえさを漁業協同組合がまとめて調達しています。また、えさの成分や育成の様子を記録しておき、いつでも確認できるようにした「トレーサビリティ」というしくみも取り入れています。

毎日のえさやりでは、食べ残しが出ないように、ぶりの大きさや動きの活発さを見て、えさの回数や量を調節しています。食べ残して海がよごれると、病気が広がったり、赤潮の発生につながったりするので、気をつけています。

▲5年 p.96 持続可能な水産業に向けた取り組み

**ガソリンの使用をおさえる自動車**

資源として限りのある原油（ガソリンの原料）の消費量をおさえ、空気のごれや地球温暖化の原因にもなる排出ガスの量をおさえるため、ガソリンのかわりに電気を使う自動車の開発が進められてきました。

- **電気自動車**…バッテリーの電気で動く自動車です。バッテリーに充電しておいた電気は、災害時に停電になったときなどにも役立てることができます。



- ◎ **ガソリンを使わない、電気自動車**
- **燃料電池自動車**…水素と空気中の酸素から電気をつくり、走る自動車です。
- **ハイブリッド車**…ガソリンと電気を組み合わせて使う自動車です。

▲5年 p.138 地球温暖化の防止に向けた自動車の開発

**運転や乗りおりがしやすい機能**

- 車いすやベビーカーを使う人でも乗りおりにしやすいように、車内やドアを広くする。
- 足にしょうがいのある人でも運転できるように、手だけで運転できる装置を取り付ける。

**キーワード**

● **ユニバーサルデザイン**

解説 しょうがいの有無、年齢や性別、言葉のちがいなどにかかわらず、だれもが等しく使いやすいように、あらかじめ安全で便利なものをつくらうとする考え方。

◎ **リフトつきの自動車**



▲5年 p.138 福祉自動車の開発



◎ **自動運転車の走行実験** 運転手のいるトラックとともに、無人のトラックを高速道路で走らせる実験も行われています。

▲5年 p.139 自動運転車の走行実験

● **自動車工場でも**

・ **環境にやさしい工場をめざす**



◎ **排水処理施設**  
工場で使った水はこの施設できれいにしてから海に流します。また、鉄板から部品を打ちぬくときは、むだな部分が出ないように設計して行い、それでも出た鉄くずはリサイクル会社にまわします。

・ **だれもが働きやすい工場をめざす**



◎ **女性の作業員も、たくさん働いています。**

◎ **聴覚にしょうがいのある人も、他の人と同じように働いています。**

▲5年 p.139 環境に配慮した、誰もが働きやすい工場

**最先端の技術で開発する**

● **少子化や高齢化が進む社会を支えるロボット**

自動車工場などでかつやくする産業用ロボットをはじめ、日本のロボット生産の技術は世界でもすぐれています。少子化や高齢化が進む日本では、働く人の減少をロボットでおこなう時代が来るかもしれません。高齢者の介護なども、ロボットの協力が期待されます。



◎ **介護用のロボット** 人の力を補助するタイプも開発されています。

◎ **細かい作業を助けるロボット**

◀5年 p.168 少子化・高齢化など社会的課題の解決に向けたロボットの開発

● **「技術の向上」の視点を重視した工業生産单元**

工業製品が改良されてきたことや、自動車工場での生産の変化がわかる資料を導入に掲載し、工業のこれまでの発展に対する理解のうえに、これからの発展について考えていくことができるようにしています。



1880年代

◎ **1880年代の自動車(ドイツ)** 世界初のガソリン自動車といわれています。

**1 自動車の生産に はげむ人々**



1930年代

◎ **1930年代の国内の自動車工場**



◎ **1930年代の国産の自動車**

最高で時速65kmほどで走れたそうです。ぶつかったときのしょうげきをやわらげるバンパーはついていません。



1970年代

◎ **1970年代の国内の自動車工場**



◎ **1970年代の国産の自動車**

時速100km以上で走れるようになりました。排出ガスをきれいにする機能の開発や導入が始まりました。



2020年代

◎ **2020年ごろの国内の自動車工場**



◎ **2020年ごろの国産の自動車**

自動で開くドア、自動ブレーキなど、便利で安全な機能がついています。ガソリンを使わない自動車もあります。

▲5年 p.124 ~ 125 自動車の生産と技術の向上

● 販売の事例を教材化した情報単元

「チェーン店における販売情報の活用」を事例にした教材を主に位置づけました。観光、医療、運輸についても選択して活用できるページを設けました。

**データ活用前**

仕入れの数	売れた数
●●パン 255	249
○○パン 80	80
△△めん 150	132
▲▲めん 100	100
□□牛乳 672	665

店長に仕入れの提案をする、本部の担当者

**データ活用後**

仕入れの数	売れた数
●●パン 248	246
○○パン 144	141
△△めん 160	158
▲▲めん 192	189
□□牛乳 842	840

売れ行きから考えると、仕入れはこれぐらいでよいと思ったのですが…

他の店のデータも集めて分析すると、○○パンが今後売れそうなので、仕入れを増やしてはどうでしょうか。

仕入れの数と売れた数が、前と比べて多くなっているね。

ある店の仕入れの変化の例

▲5年 p.194 販売情報の活用による仕入れの改善を示した資料

日本をおとずれる外国人観光客数の変化

外国人観光客が日本での旅行中にこまったこと

さまざまな種類の言語で歴史や見どころをガイドしてくれるサービス

無料のインターネットを利用できるタクシー

観光地めぐりではインターネットの情報が役立つので、無料でインターネットが使える場所が増えているのは助かります。

**せんたく** 観光に生かす情報通信技術

2010年代、日本をおとずれる外国人観光客が増えました。そこで、日本語がわからない人も情報を得やすいように、観光客が利用する交通機関や施設では、さまざまな情報通信技術を取り入れるようになりました。

観光客がスマートフォンなどを利用して情報を入手すると、「いつ、どこで、何を調べたか、どれぐらいいたか」などのデータが、インターネットを通じて残ります。

▲5年 p.202 観光に生かす情報通信技術(せんたく)

## 2 国土の範囲について多角的に考えることのできる教材

● 日本にとっての領土の意味を多角的に考える資料

日本の排他的経済水域や、その面積の他国との比較、水産業における漁場の制限など、多角的な視点から日本にとっての領土の意味を考えることができるようにしています。

国名	領土の面積	排他的経済水域の面積 (領海をふくむ)
日本	38万km <sup>2</sup>	447万km <sup>2</sup>
中華人民共和国	960万km <sup>2</sup>	96万km <sup>2</sup>
アメリカ合衆国	983万km <sup>2</sup>	762万km <sup>2</sup>

領土と排他的経済水域の広さのちがい 日本は領土の面積だと世界61位の広さですが、排他的経済水域の面積だと世界6位の広さになります。

▲5年 p.16

世界とつながっている海で魚を続けていくうえで、さまざまな課題があります。根室半島のすぐ近くには、ロシアが不法に占領している北方領土の島々があり、根室の水産業に大きなえいきょうをあたえています。



加工工場の高岡さんの話

北方領土の周りの海は、たら、さけ、ますなどの水産物が豊富です。わたしのおじさんとおばあさんも、歯舞群島で魚を営んでいました。ですが、今は自由に漁ができません。ロシアと話し合い、定められた期間に協力を支はらって漁をしているのです。とることができる水産物の種類や量は大きく制限されています。

安定して水産物がとれないと、水産業の仕事が続けようとする人も減ってしまいます。祖先の土地や漁場が早く返され、今よりも漁がしやすくなることを願っています。

これからも生産を続けていけるよう、多くの人に、国内で水あげされた魚をたくさん食べてほしいですね。

▲5年 p.99



根室市と北方領土の島々

**次につなげよう**

水産物の生産を安定させるためには、どうすればいいのかな。

外国との関係も大切なようだね。なにが取り組んでいることはあるのかな。

日本の領土に関するページ

- 国土の範囲…………… p.14 ~ 16
- 北方領土と竹島の領土問題、尖閣諸島をめぐる課題…………… p.17 ~ 18
- 水産業への影響…………… p.99

# 3 個に応じた主体的な学びを促すページ

新企画!

## ●「自分で調べて考える」ページ

児童一人一人が自分で資料を選び、「ポイント」を手がかりに読み取り考察して、みんなで共有するという学習の流れを想定したページです。今、求められている「個に応じた主体的な学び」の実現を目指したものです。

**この時間の問い**  
 たいさく  
**大規模な災害から**  
**くらしを守るために、**  
 たいさく  
**どのような対策が**  
**進められているのだろう。**

この問いを解決するための  
 追究に向かいます。

追究の進め方やポイント、  
 まとめ方などを示しています。

①の考えるの問い

さまざまな自然災害からくらしを守るために、くらしを守るために、どのような対策が進められているのだろう。

自分で調べて考える

資料からわかったこと、考えたことをノートに書こう。 →220ページへ

書いたら、おたがいに見せ合おう。 →220ページへ

ポイント

- どこ(だれ)が、対策や整備を進めているか調べよう。
- なんのために、対策を進めているのか考えよう。
- それぞれの災害への対策に共通点はあるか考えよう。

災害の種類 対策 どこ(だれ)が なんのために

自分で調べて考える

1 資料からわかったこと、考えたことをノートに書こう。 →220ページへ

書いたら、おたがいに見せ合おう。 →220ページへ

ポイント

- どこ(だれ)が、対策や整備を進めているか調べよう。
- なんのために、対策を進めているのか考えよう。
- それぞれの災害への対策に共通点はあるか考えよう。

災害の種類 対策 どこ(だれ)が なんのために

調べたことをこのような表に整理してみよう。

災害の種類	対策	どこ(だれ)が	なんのために
地震	緊急地震速報のしくみ	気象庁	大きなゆれが来る前に人々に知らせて、少しでも安全な場所に移動してもらうため。
地震	学校の校舎を、ゆれに強くする工事	国・市町村	たくさんの子どもが集まる学校を、ゆれから守るため。 →学校は避難所にもなる大切な施設。

一人一人の追究の結果を整理して、みんなで共有します。

資料の選択  
 読み取り・考察

資料からわかったこと、考えたことをノートに書こう。 →220ページへ

書いたら、おたがいに見せ合おう。 →220ページへ

ポイント

- どこ(だれ)が、対策や整備を進めているか調べよう。
- なんのために、対策を進めているのか考えよう。
- それぞれの災害への対策に共通点はあるか考えよう。

災害の種類 対策 どこ(だれ)が なんのために

資料の選択  
 読み取り・考察

資料からわかったこと、考えたことをノートに書こう。 →220ページへ

書いたら、おたがいに見せ合おう。 →220ページへ

ポイント

- どこ(だれ)が、対策や整備を進めているか調べよう。
- なんのために、対策を進めているのか考えよう。
- それぞれの災害への対策に共通点はあるか考えよう。

災害の種類 対策 どこ(だれ)が なんのために

共有・まとめ

2 ノートに書いたことを他の人と見せ合って、自分では気づかなかったことを書き加えよう。

資料書について調べ、疑問を自分で調べて、さらに考えよう!

災害の種類 対策 どこ(だれ)が なんのために

共有・まとめ

3 みんなで今日の学習をまとめよう。

さまざまな自然災害が起こる日本では、国や都道府県、市町村が協力し、計画的に防災対策を進めています。しかし、大規模な自然災害を防ぐには限りがあります。減災という考えのもと、わたしたちも災害やその対策についてよく知り、目の前の備えに生かすことが大切です。

## 「自分で調べて考える」ページ

- 自然条件と人々のくらし…p.39～40、p.41～42、p.43～44
- 米づくりのさかんな地域……………p.78～80
- 自動車の生産にはげむ人々……………p.137～140
- 日本の工業生産と貿易・運輸……………p.148～150、p.151～152、p.153～154
- 自然災害とともに生きる……………p.216～220

# 6年の主な特色

## 1 社会参画に向けて理解を深め意識を高める政治単位

▼6年 p. 8~9

### ● 障害者差別解消法を軸に展開する「憲法とわたしたちの暮らし」

だれもが暮らしやすい社会をつかっていこうとする日本国憲法や政治のしくみについて、障がいのある人の権利を保障する法律に注目して調べていきます。

第6学年の学習を、児童に親しみやすい内容からスタートします。

#### ① ともに生きる暮らしと政治

**オリンピック・パラリンピックから学び、社会を考える**  
 オリンピックとパラリンピックは、どちらも4年に一度、同じ年に開催されている世界的なスポーツの祭典です。2021（令和3）年には、東京でも夏季大会が開催されました。

オリンピック・パラリンピックとは、どのような大会なのでしょう。また、わたしたちの暮らしと社会とどのようなつながりがあるのでしょうか。6年生の社会科の学習をこれらを通してわたしたちは、オリンピックやパラリンピックを通して、どのようなことを学べるでしょうか。

オリンピック・パラリンピックについて調べてみましょう。

年	開催されたオリンピック・パラリンピック
1896年	第1回オリンピック大会（アテネ）が開催される
1912年	第2回オリンピック大会（ストックホルム）が開催される
1924年	第3回オリンピック大会（パリ）が開催される
1928年	第4回オリンピック大会（アムステルダム）が開催される
1936年	第11回オリンピック大会（ベルリン）が開催される
1948年	第14回オリンピック大会（ロンドン）が開催される
1952年	第15回オリンピック大会（ヘルシンキ）が開催される
1956年	第16回オリンピック大会（メルボルン）が開催される
1960年	第17回オリンピック大会（ローマ）が開催される
1964年	第18回オリンピック大会（東京）が開催される
1968年	第19回オリンピック大会（メキシコシティ）が開催される
1972年	第20回オリンピック大会（ミュンヘン）が開催される
1976年	第21回オリンピック大会（モントリオール）が開催される
1980年	第22回オリンピック大会（モスクワ）が開催される
1984年	第23回オリンピック大会（ロサンゼルス）が開催される
1988年	第24回オリンピック大会（ソウル）が開催される
1992年	第25回オリンピック大会（バルセロナ）が開催される
1996年	第26回オリンピック大会（アトランタ）が開催される
2000年	第27回オリンピック大会（シドニー）が開催される
2004年	第28回オリンピック大会（アテネ）が開催される
2008年	第29回オリンピック大会（北京）が開催される
2012年	第30回オリンピック大会（ロンドン）が開催される
2016年	第31回オリンピック大会（リオデジャネイロ）が開催される
2020年	第32回オリンピック大会（東京）が開催される

● 2021年開催された東京オリンピック・パラリンピック大会は、史上初めて2021年と2022年の2年にわたって開催されました。これは、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響を受け、大会の開催が延期されたためです。

● 2021年開催された東京オリンピック・パラリンピック大会は、史上初めて2021年と2022年の2年にわたって開催されました。これは、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響を受け、大会の開催が延期されたためです。

▼6年 p.13

#### 障害者差別解消法の目的（一部の要約）

すべての障がい者は、障がい者でない者と同じように、基本的な権利をもつ個人としてその尊厳を大切にされ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利をもっている。障がい者の差別解消を推進するための基本的なことがらや、その方法などを定め、障がいを理由とする差別の解消を推進し、すべての国民が、おたがいに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを旨とする。



パラ・バドミントンの山崎悠麻選手の話をしきっかけにして、憲法の学習を進みます。

#### 山崎選手の話

施設にスロープなどの設備があることで、障がいのある人だけではなく、お年寄りや小さな子どもを連れて来た人なども利用しやすくなります。

わたしにとって、スロープなどの設備が必要なように、目の不自由な人のために必要な設備もあります。

みんなで話し合っ、おたがいが助け合い、許し合える社会になるといいなと思います。

▼6年 p.21

● 失職保護の人の人権

● ハンセン病と人権保護

● アイヌの人たちや在日外国人、障がいのある人などに対する差別や偏見、性別による差別も解消していかなければなりません。そのためには、国や地方の政治が努力するだけでなく、わたしたち一人一人も、憲法にかかげられた理想の実現に向けて、おたがいの人権を尊重し合う社会をつくる努力をすることが大切です。

憲法では、さまざまな権利とともに、国民が守るべき義務についても定めています。わたしたち国民が、義務を果たしていくこともまた、よりよい社会を築いていくために大切なことです。

※ 憲法、178条（第3項）について調べよう。

● 障害者差別解消法

障害者差別解消法は、障がいのある人もない人も、ともに住みやすい社会をつくることを目的として、2016年に施行された法律です。

この法律は、障がいのあることを理由に、役所や会社・店などがサービスの提供を不当に断ったり制限したりすることを禁止しています。また、障がいのある人から行動のさまたげになるものを取り除くように求められたときに、役所や会社・店などは、負担が重くなりすぎない範囲で対応することを定めています。

人権保障をめぐる課題について、具体的な事例から学びます。

▼6年 p.25

● 障害者差別解消法の成立

国際連合は、2006（平成18）年、障害者権利条約を採択しました。この条約は、障がいのある人たちの権利を世界中の国の政府が守らなければならないということを決めた、世界の国々の約束です。この約束を日本が果たしていくために、内閣は、障害者差別解消法案をつくって2013年に衆議院に提出しました。

提出された法案は、国会の衆議院・参議院の両院で審議のうえ可決・成立して公布され、2016年に施行となりました。

● 法律ができるまで

国は、障害者差別解消法の考え方を、国民にわかりやすく説明する必要があると思います。

議員のAさん

議員のBさん

「車いすの高さに合わせて机の高さを変え、障がいのある人も使いやすいようにする」というような例を国民に広く知ってもらうために、説明会などを開きましょう。

● 2016年8月1日

● 2016年8月1日

	衆議院	参議院
議員定数	465名	248名
任期	4年	6年
	（解散が3年ごと）	

国会の働きについて、障害者差別解消法の成立の過程を例にして具体的に学びます。

## ● 人口減少問題を軸に展開する「わたしたちの暮らしを支える政治」

身近な地域で取り組まれている育児支援や、その制度の成立過程などについて調べたうえで、全国にまで視野を広げて、各地で取り組まれている人口減少問題をめぐる施策を考察する展開になっています。

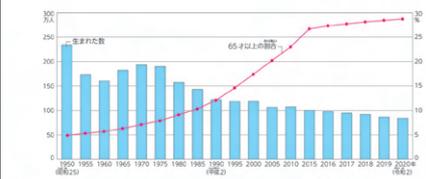


**2 わたしたちの暮らしを支える政治**

わたしたちの暮らしと社会の課題 わたしたちが住んでいるまちには、小さな子どもからお年寄りまで、年齢や生活する環境がちがう、さまざまな人たちが暮らしています。しかし、毎日を楽しく過ごしたい、よりよい人生を送りたいという願いは同じです。さまざまな年齢や環境の人たちが安心して暮らしていくために、日本では多くの支援が行われています。

今も昔も、日本にはたくさんの方が暮らしていますが、時代が移り変わるとつれて、社会の様子は変わってきました。以前は子どもの数が多く、子・親・祖父の3世代が一組に暮らす大家族が多くみられました。今は、夫婦や親と子の2世代で暮らすような「核家族」とよばれる世帯が、日本全体の約55%を占めています。一人暮らしの割合も増えてきています。

「わたしたちの暮らしを支える政治」のテーマは、日本の社会には、どのような課題があるのだろうか。



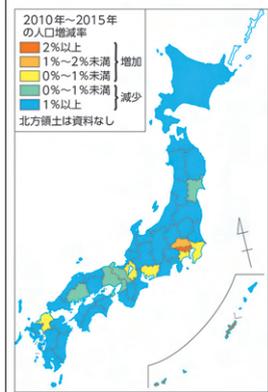
50年ほど前の日本では、子どもや若者の数が多く、お年寄りの割合はそれほど高くありませんでした。その後、生まれてくる子どもの数は年々減少する一方で、医療の進歩などによって日本人の平均寿命はのびていき、65歳以上の高齢者の割合が高くなっていきました。これからも、こうした少子化・高齢化は進んでいくと考えられています。

さらに、現在の日本は、生まれてくる子どもの数よりも、なくなる人の数の方が多く、人口が減り続けていく人口減少社会をおかしているといわれます。このような現状や将来に対して、不安を感じる人は少なくありません。少子化・高齢化や人口の減少は、暮らしにどのような影響をおよぼしているのでしょうか。

政治は、憲法や法律にもとづいて、わたしたちの暮らしを、どのようにして支えているのでしょうか。

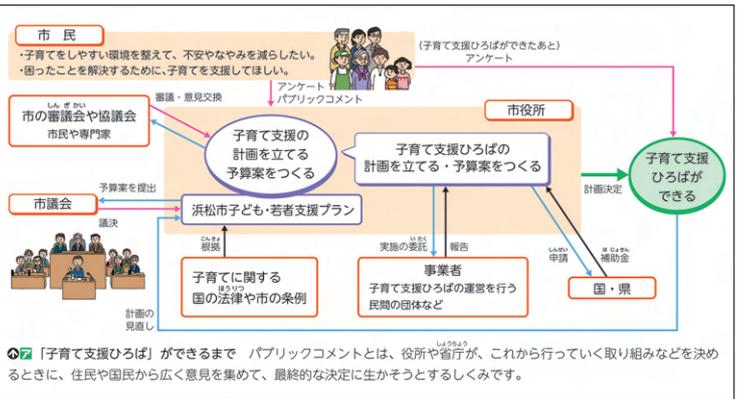
▲6年 p.34-35

## ▼6年 p.44



④ コミュニティバスを利用する住民(島根県松江市)

廃止された路線バスに代わる地域住民の移動の手段として、市が運営しています。地方自治体は、人口の減少がおよぼす影響によって人々の暮らしが不便にならないように、住民に向けたサービスをくふうして提供しています。



▲6年 p.40

## ② 日本の歴史

おおよそ100年間

1928(昭和3年)

今

人々の暮らしの今昔

「今、18歳以上のすべての国民に対する人々の関心のあり方は、以前とは、選挙権をめぐって、大きく変わっています。」

「今からおよそ100年前の人々は、政治に関心をもっていたみたいだね。でも、並んでいるのは、男性ばかりだよ。」

▲6年 p.68～69

投票するために列に並んでいる現在の人々と約100年前の人々

● 政治から歴史の学習へ、単元を効果的につなぐ資料

歴史単元の導入部を「参政権の拡大」という視点で構成しました。「選挙は、どのようなしくみで行われてきたのか」といった問いから、人々の社会参画が広がっていく歴史の展開への関心を高めます。

今からおよそ100年前の人々は、政治に高い関心をもっていたみたいだね。でも、並んでいるのは、男性ばかりだよ。

## 2 よりアクティブな歴史学習を実現する歴史単元

### ● 白黒写真のカラー化

AIの技術と史料などをもとにカラー化した画像を52点掲載しました。色鮮やかな画像資料が児童の関心・意欲を高めます。

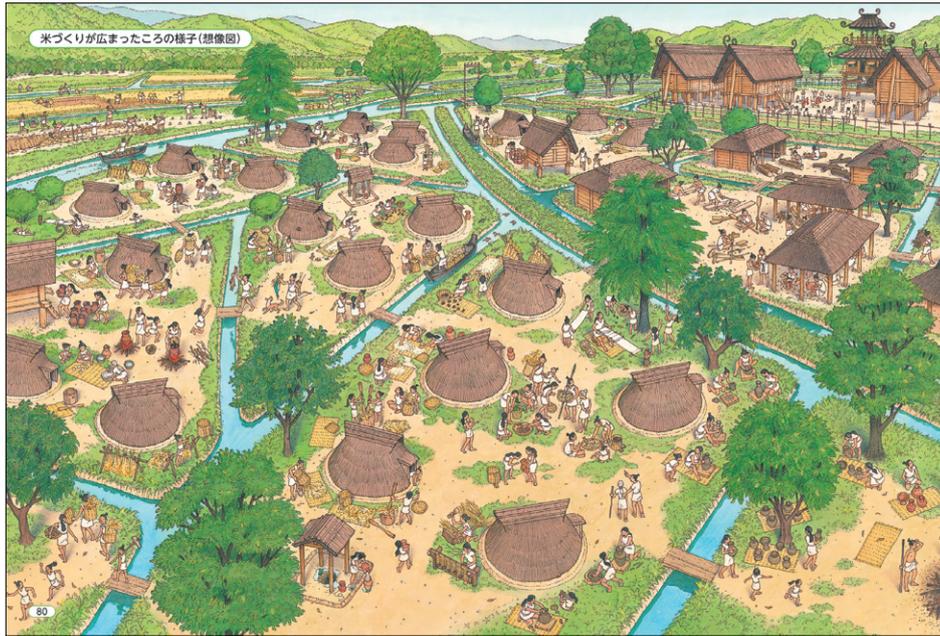
画像カラー化に関する監修 渡邊英徳(東京大学大学院教授)

※権利者の許諾を得られた写真をカラー化しています。



▲6年 p.174 占領された長州藩の砲台

新企画!

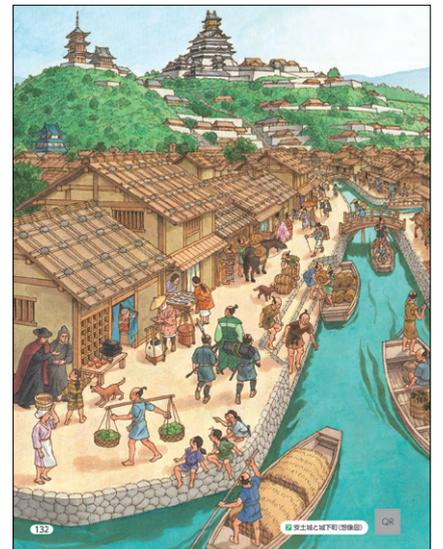


### ● 問題解決的な学習を支える資料の数々

読み取る要素がしっかりと描き込まれた精緻な想像図を、豊富に掲載しています。想像図を相互に比較して、時間の推移にともなう様子の変化を読み取る活動も、効果的に行うことができます。

◀6年 p.80～81  
米づくりが広まったころの様子

▼6年 p.132 安土城と城下町



### 想像図を掲載しているページ

日本列島歴史の旅に出かけよう ……p.76	武士の館 …… p.110～111
狩りや漁をしていたころの様子 ……p.79	農作業の様子 …… p.126
米づくりが広まったころの様子 ……p.80～81	安土城と城下町 …… p.132
米づくりの様子 …… p.84	検地の様子 …… p.136
古墳づくりの様子 …… p.89	加賀藩の大名行列 …… p.142～143
東シナ海を航行する遣唐使船 …… p.94	年貢を納める人々 …… p.146
大仏づくりの様子 …… p.101	町人の暮らし …… p.147
都の貴族の屋しき …… p.104	解剖の見学 …… p.162

### 未来をつなげる

#### 歴史を学ぶ意味を考え、未来につなげよう

わたしたちは、選挙権の広がりに関心をもったことをきっかけに、歴史の学習を始めました。そして、人々の暮らしの願いや政治のしくみのあり方が、どのように変わってきたのかを調べてきました。狩猟や採集を行って暮らしていた大昔の時代から、平和で豊かな社会を実現するまでの日本の歴史を学んできた今、これまでの学習を振り返りながら、歴史を学ぶ意味について考えてみましょう。

●選挙権の広がりを振り返る

約130年前(明治時代)	約100年前(大正時代)	約80年前(昭和時代)	今
一定の金額以上の財産を納めた25才以上の男性の国民	25才以上の男性の国民	20才以上のすべての国民	18才以上のすべての国民

大昔の大昔は、自分たちで道具をつくっていたけれど、生産の様子はいかに変わっていったよ。暮らしをよくするための人々のくふうが、わたしたちの今の暮らしにつながっているね。

いろいろなくふうで生産を高めてきた一方で、富が広がるなどの問題も起きたよ。豊かな暮らしは大歓迎だけれど、富も大切にしたいいけないと思う。

●意見文に表して伝えよう

話し合ったことをもとに、歴史上の人物やできごとから学んだ、大事にしたいこと、大事にしたいこと、大事にしたいことを、意見文にまとめてみた。

●学びのてびき 歴史から学んだことを意見文に表す

◆次のことなどによれながら意見をまとめよう

- これまで学習してきたことは、今のわたしたちの暮らしとどのようにつながっているのか。
- 歴史上の人物の考え方やその人物が行ったことで、印象に残ったこと、大切だと思ったこと何か。
- 自分は、これから社会とどう向き合っていくと考えたのか。

▲6年 p.236 ~ 237

## ●「歴史を学ぶ意味」の考察へと誘う効果的な構成

歴史単元の最後に、参政権の拡大をめぐる歴史を振り返り、社会の課題の解決に向けて役割を果たしてきた先人の営為から学んだことを、意見文に表して交流する活動例を示しました。

# 3 多様な人々との共生に向けて考えを深める国際単元

## ●世界の子どもたちから学ぶ「日本とつながりの深い国々」

各国での現地取材に基づいて、日本の小学校6年生とほぼ同じ年齢で実在する子どもの日常生活をリアルに紹介し、意欲や関心を高めながら学習できるようにしています。

### 取り上げている国々

アメリカ…………… p.242 ~ 247  
 中国…………… p.248 ~ 253  
 ブラジル…………… p.254 ~ 259  
 サウジアラビア …… p.260 ~ 265

### ダナさんの話

サウジアラビアでは、日本と同じで、小学校に6年、中学校に3年、高校に3年通います。3学期制で、9月ごろに年度が始まります。伝統的な食べ物としては、デザートという菓物を乾燥させたものがあります。お客様が来たときには、デザートとコーヒーを出しておもてします。また、カブサという料理はよく食べます。ご飯の上に肉をのせて食べる、香辛料を使った料理です。ふだんの食事や結婚式などのお祝いの場でも食べられます。1年の中で、楽しみにしている行事は、9月23日の建国記念日です。かざりつけをしたり花火を打ち上げたりして、国全体でお祝いします。ラマダーン明けの祝日も、楽しみにしています。

▲6年 p.264

### ナインさんにきた中国の小学生の暮らし

朝早くから開いている店も多いので、朝食を外で買って食べる人もいます。学校の授業は8時30分から始まります。通学は、家の人によって異なります。一人で通学する小学生は、あまりいません。

中国では、漢字を使うので、1年生からたくさんの漢字を学びます。3年生からは、筆で漢字を書く、書写の授業もあります。

昼食は、学校で食べる人もいますが、家に帰って食べる人もいます。昼休みは、昼寝をするために、3時間くらいあります。

午後5時ごろに学校の授業が終わります。放課後は、クラブ活動もあります。家に帰ると、宿題をしたり、ゲームをしたりしています。

休日は、スポーツや楽器の練習、外国語の学習など、習いごとをしている子どもが多くいます。長い休みには、家族で旅行に行くこともあります。

◎昼 朝食を売る屋台  
 ◎書写の授業  
 ◎学校で食べる昼食

▲6年 p.253

## ●世界で活躍する日本人から学ぶ 平和な世界の実現を目指している日本人の活動から、国際協力のあり方について考えます。



▲6年 p.272 アフガニスタンからの難民を診療する中村哲さん。

学年1冊（合冊）の教科書は、政治と歴史のページを行き来しながら学びを深めていくうえで、より効果的です。

### 政治単元

●国民権  
 ●基本的人権の保障  
 ●選挙権

●国民権とは、国に属する者が持つ権利のことです。選挙権は、国民が国政を決定するために行使する権利です。基本的人権は、国に属する者が持つ権利です。選挙権は、国民が国政を決定するために行使する権利です。

▲6年 p.14 政治単元

### 歴史単元

●キーワード  
 ●日本国憲法  
 ●14ページも見てみよう

●日本国憲法は、日本国が、決して二度と戦争をしないことを誓った憲法です。日本国憲法は、日本国が、決して二度と戦争をしないことを誓った憲法です。日本国憲法は、日本国が、決して二度と戦争をしないことを誓った憲法です。

▲6年 p.223 歴史単元



# デジタル教科書・デジタル教材 のご紹介

紹介ページはこちら



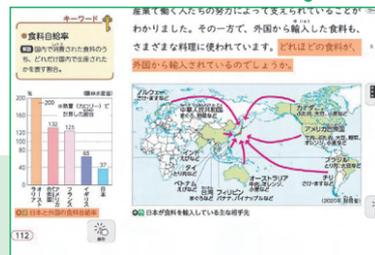
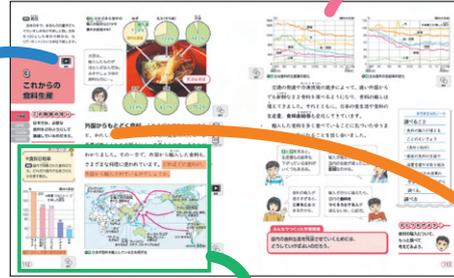
## ● 指導者用デジタル教科書(教材)

「使いたくなる」から「なくてはならない」教材に



**より充実したコンテンツに**  
各単元に導入動画を用意しました。学習課題を設定する場面などでご活用ください。動画以外のコンテンツもさらに充実させました。

**より多くの先生がたに使いやすい** ※  
本文に関連する資料がハイライトするため、紙面の構造をイメージしやすくなります。教材研究などでご活用ください。



**より大きく** ※  
写真や図版をこれまで以上に大きく表示できるようになりました。

**外国からもとどく食料** これまでの学習をふり返ると、わたしたちの食事は、たくさんの農家の人たちが水産業で働く人たちの努力によって支えられていることがわかりました。その一方で、外国から輸入した食料も、さまざまな料理に使われています。どれほどの食料が、外国から輸入されているのでしょうか。

**よりスムーズに** ※  
段落ごとに関連する資料が表示されます。授業展開に沿ってスムーズに資料を表示でき、児童の思考を途切れさせません。



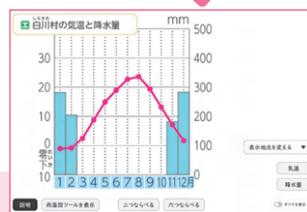
## ● 学習者用デジタル教科書+デジタル教材

「主体的な学び」を支える教材に



**深い学びをサポート**  
資料を丁寧に解説した動画や、教科書内容を補完する動画を用意しています。繰り返し見ること、自ら進んで学ぶことができます。

**資料読解をサポート**  
資料を要素で分けて表示することができ、複雑な資料も段階的に読み取ることができます。



また、季節によって日本の国土にふく風の方向が変わります。この季節風は、冬はユーラシア大陸からふき、日本海をわたるときに多くの水分をふくみ、しめった風になります。そして国土の中央に連なる山地にぶつかると、雪をふらせず。山地をこえた太平洋側ではかわいた風となり、晴れの日が続きます。



**児童おのおのに適した学び方**  
学習場面にそくした思考ツールを選択しながら、考えを整理したり、学習内容をまとめたりすることができます。

**比較・関連付けをサポート** ※  
本文と資料の関連付けや、資料どうしの比較・関連付けが行いやすく、見方・考え方を働かせた学びを効果的に進めることができます。

・ ※を付したコンテンツは、3年・4年の教材には搭載されておりません。  
・ 掲載画面は開発中のものであり、予告なく変更することがあります。

# 教科書を活用した指導を支える 「教師用指導書」

## ● 「小学社会」教師用指導書

### 総説編

各単元で指導する知識や概念を整理した教材構造図、ねらいや学習活動、具体的な評価規準等を、全学年を通して一覧できるように掲載。二期制や複式指導への対応も併せて、指導計画作成の有効な手引きです。

### 研究編

各学年の年間学習指導計画や評価計画の立案に必携。授業改善に向けた研究などにも欠かせません。

**掲載内容：**年間学習指導計画・評価計画例、教材構造図、学習指導案（各時間）、補充資料、その他

\*各企画の内容は変更になることがあります。  
\*その他、「拡大教科書」の発行を予定しています。

### 朱書編／デジタル朱書編

教科書の紙面を縮小して掲載。各時間の授業の流れとポイントが視覚的にわかります。

※「朱書編」は分売もあります。

**掲載内容：**配当時間、指導のねらい、教師の発問例、子どもから引き出したい発言例、評価と支援、板書例、指導のポイント、など

### データ編

教科書の内容に準拠した評価問題、ワークシート、また、各種白地図などをデータで提供します。

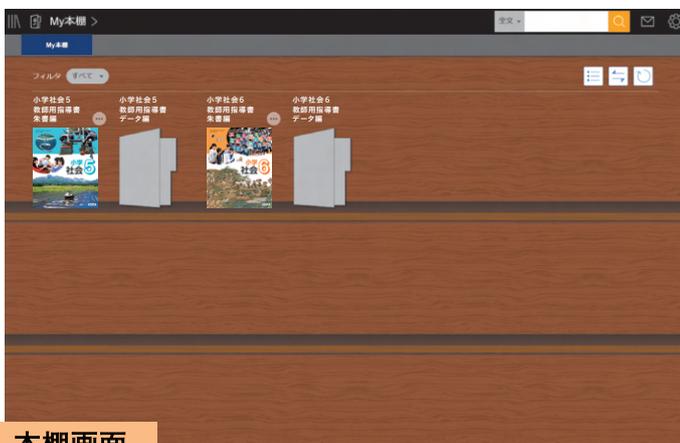
## ● デジタル朱書編

新企画！

令和6年度版から教師用指導書セットにデジタル朱書編（データ配信版）を同梱して提供します。

### 【デジタル指導書の特徴】

- ① 先生どなたでも使用できる。
- ② アカウントごとに書き込み・保存ができる。
- ③ 文字検索ができる。
- ④ 複数の端末でアクセスできる。
- ⑤ 自作の資料を保存できる。



本棚画面



デジタル朱書編

# 著者の紹介

監修

大石 学 東京学芸大学名誉教授

小林 宏己 早稲田大学教育・総合科学学術院教授

編集・執筆

相原 雄三	明星大学特任教授	清水 隆志	東京都北区立西が丘小学校教諭
綾邊香代子	東京都立川市立柏小学校教諭	白尾 裕志	琉球大学教職大学院教授
安藤 雅之	常葉大学大学院教授	白崎 正	北海道札幌市立八軒西小学校校長
池 俊介	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	杉本 季穂	東京都新宿区立四谷小学校教諭
石井 英真	京都大学大学院准教授	鈴木 崇資	暁星小学校教諭
石井 正広	東京都新宿区立四谷小学校校長	鈴木 雄士	東京都小金井市立小金井第一小学校教諭
石田 航平	関西学院初等部教諭	鈴木 遼輔	神奈川県小田原市立桜井小学校教諭
石橋 昌雄	立正大学教授	武久 浩之	埼玉県さいたま市立三橋小学校教頭
稲井 智義	鳴門教育大学附属小学校教諭	土屋 勲	元浜松市立曳馬中学校校長
内井 利樹	東京都府中市立府中第十小学校校長	土屋 直人	岩手大学教授
内山 隆	北海道教育大学教授	恒吉 僚子	文京学院大学副学長・特任教授
梅田比奈子	玉川大学教職大学院准教授	寺崎 千秋	元東京都練馬区立光和小学校校長
大澤 克美	東京学芸大学教職大学院教授	寺本 潔	玉川大学名誉教授
大嶋 和彦	香川大学附属高松小学校副校長	外池 智	秋田大学大学院教授
大野 俊一	慶應義塾幼稚舎教諭	長尾 彰夫	元大阪教育大学学長
大村龍太郎	東京学芸大学准教授	廣嶋憲一郎	元聖徳大学大学院教授
小川亜弥子	福岡教育大学教授	藤本 将人	宮崎大学准教授
尾崎 春樹	目白学園理事長	伏木 久始	信州大学教授
笠原 嘉治	中村学園大学特命教授	鋒山 泰弘	追手門学院大学教授
鎌田 和宏	帝京大学教授	堀 新	共立女子大学教授
釜田 聡	上越教育大学大学院教授	堀田 龍也	東北大学大学院教授
神野 智尚	千葉県我孫子市立我孫子第一小学校教諭	松岡 広記	神奈川県川崎市立犬蔵小学校校長
神野 幸隆	香川大学准教授	松本 大介	東京学芸大学附属世田谷小学校教諭
川崎 義人	東京都大田区立萩中小学校教諭	宮園 衛	新潟大学名誉教授
岸野 存宏	東京学芸大学附属世田谷小学校教諭	宮田 浩行	東京学芸大学附属世田谷小学校教諭
木下健太郎	東京都町田市立南成瀬小学校校長	宗像 北斗	神奈川県横浜市立幸ヶ谷小学校教諭
栗原 清	学習院大学特任教授	村田 辰明	関西学院初等部副校長
神代 明	九州女子大学教授	森 清隆	白梅学園大学特任教授
小玉 重夫	東京大学大学院教授	柳下 則久	青山学院大学客員教授
小林 宏幸	神奈川県横浜市立山元小学校教諭	藪田 貫	兵庫県立歴史博物館館長
近藤 真	慶應義塾横浜初等部教諭	山川 美帆	東京都練馬区立練馬第三小学校教諭
坂井 誠亮	北海道教育大学教授	山下 真一	筑波大学附属小学校教諭
坂本 正彦	白百合女子大学教授	由井園 健	筑波大学附属小学校教諭
櫻井 眞治	東京学芸大学教授	渡部 岳史	香川県琴平町立琴平小学校教頭
佐藤 健	東北大学・災害科学国際研究所教授	和田 幹夫	東京都板橋区立上板橋第四小学校校長
佐藤 正寿	東北学院大学教授		
重松 克也	横浜国立大学教授		

教育出版株式会社

SDGsとESDに関する監修 手島 利夫 元東京都江東区立八名川小学校校長

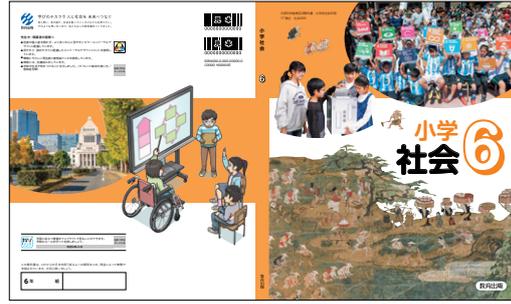
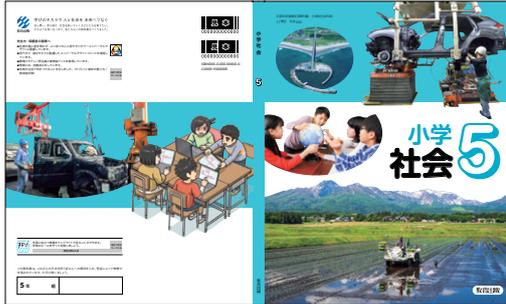
馬奈木俊介 九州大学大学院主幹教授

特別支援教育監修 名越 斉子 埼玉大学教授

画像カラー化に関する監修 渡邊 英徳 東京大学大学院教授



学びのチカラで人と社会を 未来へつなぐ  
 自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
 そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



\* 著作者の紹介は、P30に掲載しております

『小学社会』の表紙は、学習内容に関わりのある写真と、子どもたちの学習活動の写真で構成しています。5年生用教科書の表紙と裏表紙をご覧ください。どちらにも自動車と作業の様子を掲載しています。両者は実は「組み立て」と「解体」という異なる作業を行っています。それらの写真から、資源がリサイクルされているということが想起されます。

裏表紙にはICTを活用した協働的な活動に取り組む子どもたちのイラストを掲載し、その今日的な学びの姿から親しみを感じられるようにしました。「写真の場所はどんな所だろう?」「写真の人は(子どもたちは)何をしているだろう?」などと教室の子どもたちに問いかけてみてください。なお、撮影地などの情報は教科書の奥付に記載しています。

新しい教科書の  
**特設サイト**は  
 こちらから!



教育出版社ウェブサイトからもアクセスできます。

### まなびリンク

授業で役立つ動画や音声、資料を活用できる無料のコンテンツはこちら!



- 本社 〒135-0063 東京都江東区有明 3-4-10 TFT ビル西館
- 北海道支社 〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 1 プレスト 1・7 2F
- 函館営業所 〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一ビルディング 3F
- 東北支社 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
- 中部支社 〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F
- 関西支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F
- 中国支社 〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
- 四国支社 〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F
- 九州支社 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1 博多蔵本太田ビル 4F
- 沖縄営業所 〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F

- TEL : 03-5579-6278 (代) / FAX : 03-5579-6444
- TEL : 011-231-3445 / FAX : 011-231-3509
- TEL : 0138-51-0886 / FAX : 0138-31-0198
- TEL : 022-227-0391 / FAX : 022-227-0395
- TEL : 052-262-0821 / FAX : 052-262-0825
- TEL : 06-6261-9221 / FAX : 06-6261-9401
- TEL : 082-249-6033 / FAX : 082-249-6040
- TEL : 089-943-7193 / FAX : 089-943-7134
- TEL : 092-282-1150 / FAX : 092-282-1160
- TEL : 098-859-1411 / FAX : 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/index.html>

